



海外渡航される方へ、**デング熱**にご注意!!

デング熱は、デングウイルスが感染しておこる感染症で、発熱、頭痛、筋肉痛や発疹などが主な症状です。まれに重症化して、早期に適切な治療が行われなければ死に至ることがあります。東南アジア、南アジア、中南米で患者の報告が多く、その他、アフリカ、オーストラリア、南太平洋の島でも発生があります。

感染経路は・・・

蚊を介して感染します。発症した人が蚊に刺されると、その蚊にウイルスが移り、その蚊に刺されたほかの人に感染します。そのため、蚊に刺されないようにすることが重要です。

詳しくは厚労省HP
「デング熱に関するQ&A」



蚊に刺されないためのポイント

- ・肌を露出しない長袖、長ズボンを着用する
- ・素足でのサンダル履きを避ける
- ・白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ
- ・露出する部分には虫除けスプレーなどを使用する
- ・蚊取り線香などを使って蚊を近づけない



渡航中に・・・

発熱や筋肉痛・関節痛などの症状が現れたときは、自己判断で解熱剤を服用したりせず、すぐに医療機関を受診してください。

帰国時に・・・

発熱など心配な症状のある方や、渡航先において医療機関を受診するなど体調に不安のある場合は、空港や港の検疫所にご相談ください。

帰国後は・・・

デング熱の潜伏期間は2~14日です。帰国後に症状が出た場合は、自分一人で判断せず、速やかにお近くの医療機関を受診し、医師に、渡航先や渡航期間、渡航先での活動などについて、詳しく伝えてください。

定点種別	疾患名	状況	29週(7/15~7/21)		30週(7/22~7/28)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	-	4	0.16	2	0.08
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	566	22.64	461	18.44
小 児 科	RSウイルス感染症	/	35	2.19	26	1.63
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	2	0.13	4	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	53	3.31	53	3.31
	感染性胃腸炎	-	36	2.25	46	2.88
	水痘(みずぼうそう)	-	3	0.19	3	0.19
	手足口病	○	236	14.75	173	10.81
	伝染性紅斑(りんご病)	-	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	7	0.44	7	0.44
	ヘルパンギーナ	-	42	2.63	46	2.88
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	-	3	0.60	3	0.60
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	2	0.40	1	0.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし